**2016年度鎌倉ラグビースクール基本方針**

1. **スクール指導理念**

　ラグビーというスポーツを通じ、基礎的な技術の習得と体力の向上を図ることはもちろんですが、「試練にめげない強い心」「仲間のために発揮する大きな勇気」「仲間を思いやる優しい心」「常に真摯にプレーする心」を育みます。

　その結果として、ラグビー選手として将来を担う選手になってもらいたいことはもとより、豊かな人間性を形成し、集団の中で自己を磨き、社会生活に役　立て、地域社会に貢献する人材になることを期待しています。

1. **当法人は一般社団法人として第5期に入るにあたり、更なるコーチ参画の真の組織運営をはかる。**
2. 理事会は重要・一般事項の決裁、月次決算、運営上の報告事項を行う
3. 法人として確立した会計基準をベースに予算管理を徹底する（全体予算、学年別予算、催事予算、合宿予算）。
4. 運営委員会１３部会、県ＲＳ部会は事務局とコミュニケーションを密にとり全コーチとタイムリーに情報を共有する。
5. ＨＰを活用し理事会、運営委員会決裁事項を全コーチにフィードバックする。
6. **ＫＲＳとして全学年コーチが理解する一貫性のある指導要領をまとめ実践する体制を作る。**

**－　基本に忠実で明るく元気で強いラグビー**

1. 技術指導要領（ＦＷ，ＢＫの基本スキル、チームワーク等の世代別ステップアップ、チーム状況にあった戦略・戦術の構築指導）
2. 期初―学年別年度方針発表、合宿前―中間フォローの実施

期末―成果，課題を確認し次年度につなげる。

1. 指導体制―世代層別統括コーチと生徒の技術到達レベルを考える。
* ミルキー世代（ミニ5人制）－挨拶、ラグビーの楽しさ、お友達
* 3～4年（ミニ7人制）－ラン、パス、キック、キャッチ、コンタクトの基本ができ、勝つ喜びとチームワークを学ぶ。
* 5～6年（ミニ9人制）－正しいタックルと厳しいコンタクトができ、勝つ喜びと負ける悔しさを経験する。
* 中学（ジュニア12人制）－ＦＷ／ＢＫの基本スキルを理解し、勝つ厳しさとチームワーク、個々のスキルアップにチャレンジする。
1. 友好スクールとの合同練習、交流試合を積極的に行い生徒のモチベーションを高め、コーチのマネージメント能力、指導力、知識の向上をはかる。
2. **コーチの資格・責務・育成・ローテーションについてルールを確立する。**
3. 資格：社員として一年間スクールに準コーチとして在籍し、ヘッドコーチの推薦をもとに理事会で
 承認
4. 責務：技術講習会への参加、レフリー、メディカルアドバイザー資格習得、指導料の醸成
5. 育成：次世代ヘッドコーチ育成のため、現場にて技術力、指導力、知識力のトレーニングをし、
 個々のコーチのレベルアップをはかる。コーチ合同練習への参加
6. ローテーション：各年代層別に継続的な指導を考慮したコーチシフト、ヘッドコーチ中心にＦＷ，
 ＢＫを含めて適材適所に配置する。　新規コーチのリクルートを積極的にする
7. **プロジェクトの推進**
8. 第2期高校進学プロジェクト
9. 体力増強プロジェクト
10. レフリー育成プロジェクト
11. スクール生徒募集プロジェクト
12. 新規コーチリクルートプロジェクト
13. **企業、大学にアプローチし友好関係を保ちラグビー指導を受ける。**

同時にグランド使用の機会をえる。

1. **中学生ジュニアの継続的なチーム基盤作り**

　　　小学6年生からの受入れ体制、コーチ陣容、練習グランドの確保

1. **中期的な視野に立ち、地元神奈川県のみならず他都道府県のラグビースクールと交流をはかり、地域のラグビー発展、普及に貢献する。**
2. **安全対策**
* 体調管理、熱中症対策（ＡＥＤの準備と定期的講習会の実施）
* オーバートリアージ考え方導入、生じた事象に対する対処と再発予防策の対応をとる。
1. **恒例行事の予算管理と円滑な運営をはかる**

ラグビー祭、お花見会、ＢＱ大会、武蔵野ＲＳ交流会、技術講習会、国際交流、県夏季講習会、
鎌倉市民七人制大会、鎌倉市民タグ大会

以上